

## 天溪 2018年「エベレスト街道 カラパタール 18日間」

「エベレスト街道 カラパタール 18日間」を11月5日～11月22日に行いました。

今年はネパールの首都カトマンズから約150Kmほど東へ戻ったエベレスト街道をトレック。この所1年毎に東のエベレスト、西のアンナプルナを交互にトレックしており、今年のエベレスト方面の番。当初の計画はカラパタール(5550m)、チョラ・パス(5368m)、ゴーキョ・ピーク(5357m)、レンジョ・パス(5360m)と越えて行く雲上のトレックでしたが、参加される皆様がヒマラヤ初めてか2度目の高所ビギナーで、この地は高山病対策など難易度が高い事から安全を期して単発のカラパタール登頂に切り替えさせていただきました。



(夕焼けのエベレスト 11月15日)

### ○ルクラ～ナムチェ～タンボचे

数日前にルクラ便が飛ばなかったせいなのか、トレックシーズンが遅れているのか分かりませんが、街道筋は物凄いトレッカーでした。そんな中で自分のペースを乱された人達も。こんな些細な出来事も高山病発症の要因になる事が多々有ります。モンスーン明けのこの時期は毎日エベレスト(8848m)、ローツェ(8516m)の山並みが見えますが、今年は偏西風が弱いのか、南壁に暖められた暖気が溜まるのか、午後になると何故かローツェ周辺だけ分厚い雲に覆わる変な現象がトレック期間中続いていました。



(ナムチェ上部 11月8日)



(タンボचेへ 11月9日)





○タンボチェ〜ディンボチェ〜チュクン(往復)

日当たりが良くて快適なディンボチェ(4410m)に3連泊し、その間にアイランドピーク(6189m)麓のチュクン(4730m)まで高度純化がてら遊びに出かけました。ここはローツェ南壁が目前に迫る絶景の地で、反対を向けばヒマラヤひだの山並みが美しく輝いている所です。



(アマダブラム11月11日)



○ロブチェ〜ゴラクシェフ〜カラパタール(往復)〜エベレストBC(往復)〜下山

ロブチェ(4910m)上部から標高 5000mの地、簡単に言えば酸素が下界の半分になる中々過酷な所です。天溪ツアーのコンセプトの1つが夕焼けのヒマラヤを堪能する事。この街道の最終宿泊地ゴラクシェフ(5140m)を午後1時に発ってカラパタールを目指しました。所でカラパタールの標高は市販の地図で 5550m、GPS で計ったら 5634m。どちらでも構いませんが確かに 5600mは越えていると思われます。

カラパタール登頂の翌日、皆様のリクエストにお答えし、エベレスト・ベースキャンプ(5364m)を往復してからロブチェを通り、トクラ(4620m)まで一気に下山しました。人の体は妙なもので今回は下山を始めてから若干高山症状が出た人が数人おりました。下山するにつれ酸素が濃くなり高山病は治りそうなものですが、5000mを越える高地は一寸したことでも高山病の遠因になるのかも知れません。



(左カラパタール頂上 11月15日)





(カラパタールにて11月15日)

2018年天溪ツアーはこれを持って終了です。引き続き「パタゴニア・パイネとフィッツロイ14日間」が計画されていましたが、催行決定が遅れた事(8月末)からパイネのロッジがテント泊しか手配出来ず、色々思案の末に催行を中止にさせていただきました。参加ご希望の皆様、誠に申し訳御座いません。2019年は万難を排し実施したいと思います。

今年も色々ご愛顧を賜り、有難う御座いました。2019年は1月21日発の「ミルフォードトラックとマウントクック11日間」で始まります。何卒、宜しく願い申し上げます。

天溪 赤沼